

回神は我らのすみか
Deu 33 : 27 とこしえにいます神はあなたのすみかであり、下には永遠の腕がある。

回主を恐れて主の道に歩む
Deu 10 : 12 イスラエルよ、今、あなたの神、主があなたに求められる事はなんであるか。ただこれだけである。すなわちあなたの神、主を恐れ、そのすべての道に歩んで、彼を愛し、心をつくし、精神をつくしてあなたの神、主に仕え、：13 また、あなたがきょうあなたに命じる主の命令と定めとを守って、さいあいを得ることである。

回あれみにより頼み、恵みの御座に近づこう
Hbr 4 : 15 この大祭司は、あたしたちの弱さを思いやることのできないようなたではない。罪は犯されなかったが、すべてのことについて、あたしたちと同じように試練に会われたのである。：16 だから、あたしたちは、あれみを受け、また、恵みにあずかって時を待たし助けを受けるために、はげめることなく恵みの御座に近づこうではないか。

回主イエスが受ける試練
Hbr 2 : 17 そこで、イエスは、神のみえに**あれみ**深い忠実な大祭司となって、民の罪をあがなうために、あらゆる点において兄弟たちと同じようにならねばならなかった。：18 主ご自身、試練を受けて苦しまれたからこそ、試練の中にある者たちを助けることができるのである。

回信仰の目をもって軍勢を見る
2Kg 6 : 16 エリシャは言った、「恐れることはない。あれあれと共にいる者は彼らと共にいる者よりも多いのだから」。：17 そしてエリシャが祈って「主よ、どうぞ、彼の目を開いて見させてください」と言うと、主はその若者の目を開かれたので、彼が見ると、火の馬と火の戦車がか山に満ちてエリシャのまわりにあった。

回主は我らの味方である
Rom 8 : 31 それでは、これらの事について、なんと言おうか。もし、神があたしたちの味方であるなら、だれがあたしたちに敵し得ようか。：32 ご自身の御子をさえ惜しまないで、あたしたちすべての者のために死に渡されたかたが、どうして、御子のみならず万物をも賜あらないことがあるうか。

回平安な義の実
Hbr 12 : 11 すべての訓練は、当座は、喜ばしいものとは思われず、むしろ悲しいものと思われる。しかし後になれば、それによって鍛えられる者に、平安な義の実を結ばせるようになる。

回主は岩、不義なし
Deu 32 : 4 主は岩であって、そのみあざは全く、その道はみな正しい。主は真実なる神であって、偽りなく、義であって、正である。

回手のあざの収穫を食べて満ち足り、喜び楽しむ
Deu 12 : 18 あなたの神、主が選ばれる場所で、あなたの神、主の前でそれを食べなければならぬ。・・・共にそれを食べ、手を挙げて獲るすべての物を、あなたの神、主の前に喜び楽しませなければならない。
Deu 30 : 8 しかし、あなたは再び主の声に聞き従い、あたしが、きょう、あなたに命じるすべての戒めを守るのである。：9 そうすればあなたの神、主はあなたがきょうあなたに命じる主の命令と定めと、・・・あなたを榮えさせられるであろう。

回サタンの誘惑、申命記で答える（神との愛を攻撃する）
Mtt 4 : 1 さて、イエスは御聖霊によって荒野に導かれた。悪魔に試みられるためである。：2 そして、四十日四十夜、断食をし、そののち空腹になられた。3 すると試みる者がきて言った「・・・：5 それから悪魔は、イエスを聖なる都に連れて行き、宮の頂上に立たせて：6 言った、「もしあなたが神の子であるなら、下へ飛びおりてごらんなさい。『神はあなたのために御使たちにお命じになると、あなたのために御使たちを遣はすから』」。7 イエスは彼に言われた、「『主なるあなたの神を試みてはならない』とまた書いてある。・・・：11 そこで、悪魔はイエスを連れ去り、そして、御使たちがみもとにきて仕えた。

回正義と公正を行う主
1Ch 18 : 14 こうしてダビデはイスラエルの全地を治め、そのすべての民に公道と正義を行った。
Gen 18 : 18 アブラハムは必ず大きな強い国民となって・・・：19 あたしは彼が後の子らと家族と共に命じて主の道を守らせ、正義と公道とを行わせるために彼を知ったのである。・・・
2Sm 23 : 1 これはダビデの最後の言葉である。・・・：3 イスラエルの神は語られた、イスラエルの岩はあたしに言われた、『人を正しく治める者、神を恐れて、治める者は、4 朝の光のように、雲のない朝に、輝き渡る太陽のように、世に若草を芽ばえさせる雨のように人に臨む』。：5 まことに、あが家はそのように、神と共にあるではないか。それは、神が、よらず偏あって不審かたことしえの契約をあたしと結ばれたからだ。どうして彼はあたしの救と願いを、皆なしとげられぬことがあるうか。
1Kg 10 : 8 あなたの樂方たちはさいあいです。常にあなたの前に立て、あなたの知恵を聞く家来たちはさいあいです。：9 あなたの神、主はほむべきかな。主はあなたを喜び、あなたをイスラエルの位にのぼせられました。主は永久にイスラエルを掌せられるゆえ、あなたを王として公道と正義とを行あせられるのです」。

あれみの神

自分の日を知る（知恵）

11 だれがあなたの怒りの力を知るでしょうか、だれがあなたをおそれる恐れにしがたつてあなたへの憤りを知るでしょうか。
12 われらにおが日を数えることを教えて、知恵の心を得させてください。
13 主よ、み心を変えてください。いつまでお怒りになるのですか。
14 あなたのしもべをあわれんでください。あしたに、あなたのいつくしみをもってわれらを飽き足らせ、世を終るまで喜び樂しませてください。
15 あなたがわれらを苦しめられた多くの日と、われらが災にあつた多くの年とに比べて、われらを樂しませてください。
16 あなたのみわざを、あなたのしもべらに、あなたの榮光を、その子らにあらわしてください。
17 われらの神、主の恵みを、われらの上に、われらの手のわざを、われらの上に榮えさせてください。
われらの手のわざを榮えさせてください。

ちに帰る

9 われらのすべての日は、あなたの怒りによつて過ぎ去り、あなたの年の尽きるのは、ひと息のようです。われらのよわいは七十年にすぎません。あるいは健やかであつても八十年でしょう。しかしその一生はただ、ほねおりと悩みであつて、その過ぎゆくことは速く、われらは飛び去るのです。
11 だれがあなたの怒りの力を知るでしょうか、だれがあなたをおそれる恐れにしがたつてあなたへの憤りを知るでしょうか。
12 われらにおが日を数えることを教えて、知恵の心を得させてください。
13 主よ、み心を変えてください。いつまでお怒りになるのですか。
14 あなたのしもべをあわれんでください。あしたに、あなたのいつくしみをもってわれらを飽き足らせ、世を終るまで喜び樂しませてください。
15 あなたがわれらを苦しめられた多くの日と、われらが災にあつた多くの年とに比べて、われらを樂しませてください。
16 あなたのみわざを、あなたのしもべらに、あなたの榮光を、その子らにあらわしてください。
17 われらの神、主の恵みを、われらの上に、われらの手のわざを、われらの上に榮えさせてください。
われらの手のわざを榮えさせてください。

とこしえの神

1 主よ、あなたは世々われらのすみかでいらせられる。
2 山がまだ生れず、あなたがまだ地と世界とを造られなかつたとき、とこしえからとこしえまで、あなたは神でいらせられる。
3 あなたは人をちりに歸らせて言われます、「人の子よ、歸れ」と。
4 あなたの目の前には千年も過ぎ去ればきのうのごとく、夜の間のひと時のようです。
5 あなたは人を大水のように流れ去らせられます。彼らはひと夜の夢のごとく、あしたにもえでる青草のようです。
6 あしたにもえでて、榮えるが、夕べには、しおれて枯れるのです。
7 われらはあなたの怒りによつて消えうせ、あなたの憤りによつて滅び去るのです。
8 あなたはわれらの不義をみ前におき、われらの隠れた罪をみ顔の光のなかにおかれました。9 われらのすべての日は、あなたの怒りによつて過ぎ去り、あなたの年の尽きるのは、ひと息のようです。われらのよわいは七十年にすぎません。あるいは健やかであつても八十年でしょう。しかしその一生はただ、ほねおりと悩みであつて、その過ぎゆくことは速く、われらは飛び去るのです。

主は救い主

16 私は長寿をもつて彼を満ち足らせ、わが教を彼に示すであらう。
14 彼は私を愛して離れないゆえに、私は彼を助けよう。
13 あなたはししと、まむしとを足の下に踏み、若いししと、へびとを足の下に踏みこむであらう。
12 彼らはその手で、あなたをささえ、石に足を打ちつけることのないようにする。
11 彼は私を愛して離れないゆえに、私は彼を守ります。
10 彼は私を愛して離れないゆえに、私は彼を守ります。
9 あなたはししと、まむしとを足の下に踏み、若いししと、へびとを足の下に踏みこむであらう。
8 彼は私を愛して離れないゆえに、私は彼を守ります。
7 彼は私を愛して離れないゆえに、私は彼を守ります。
6 彼は私を愛して離れないゆえに、私は彼を守ります。
5 彼は私を愛して離れないゆえに、私は彼を守ります。
4 彼は私を愛して離れないゆえに、私は彼を守ります。
3 彼は私を愛して離れないゆえに、私は彼を守ります。
2 彼は私を愛して離れないゆえに、私は彼を守ります。
1 彼は私を愛して離れないゆえに、私は彼を守ります。

主が守る

11 これは主があなたのために天使たちに命じて、あなたの歩むすべての道である。
12 彼らはその手で、あなたをささえ、石に足を打ちつけることのないようにする。
13 あなたはししと、まむしとを足の下に踏み、若いししと、へびとを足の下に踏みこむであらう。
14 彼は私を愛して離れないゆえに、私は彼を助けよう。
15 彼は私を愛して離れないゆえに、私は彼を守ります。
16 私は長寿をもつて彼を満ち足らせ、わが教を彼に示すであらう。

恐れない

5 あなたは夜の恐ろしい物をも、屋に飛んでくる矢をも恐れることはない。
6 また暗やみに歩きまわる疫病をも、真昼に荒す滅びをも恐れることはない。
7 たとい千人はあなたのかたわらに倒れ、万人はあなたの右に倒れても、その災はあなたに近づくことはない。
8 あなたはただ、その目をもつて見、悪しき者の報いを見るだけである。
9 あなたは主を避け所とし、いと高き者をすまいとしたので、災はあなたに臨まず、悩みはあなたに臨まず、
10 災はあなたに臨まず、悩みはあなたに臨まず、
11 これは主があなたのために天使たちに命じて、あなたの歩むすべての道である。
12 彼らはその手で、あなたをささえ、石に足を打ちつけることのないようにする。
13 あなたはししと、まむしとを足の下に踏み、若いししと、へびとを足の下に踏みこむであらう。
14 彼は私を愛して離れないゆえに、私は彼を助けよう。
15 彼は私を愛して離れないゆえに、私は彼を守ります。
16 私は長寿をもつて彼を満ち足らせ、わが教を彼に示すであらう。

主は避けどころ

1 いと高き者のもとにある隠れ場に仕む人、全能者の陰にやどる人は主に言うであらう、「わが避け所、わが城、わが信頼しまつるわが神」と。
3 主はあなたをかりゆうどのわなと、恐ろしい疫病から助け出されるからである。
4 またその羽をもつて、あなたをおおわれる。あなたはその翼の下に避け所を得るであらう。そのまことは大盾、また小盾である。
5 あなたは夜の恐ろしい物をも、屋に飛んでくる矢をも恐れることはない。
6 また暗やみに歩きまわる疫病をも、真昼に荒す滅びをも恐れることはない。
7 たとい千人はあなたのかたわらに倒れ、万人はあなたの右に倒れても、その災はあなたに近づくことはない。
8 あなたはただ、その目をもつて見、悪しき者の報いを見るだけである。
9 あなたは主を避け所とし、いと高き者をすまいとしたので、災はあなたに臨まず、悩みはあなたに臨まず、
10 災はあなたに臨まず、悩みはあなたに臨まず、
11 これは主があなたのために天使たちに命じて、あなたの歩むすべての道である。
12 彼らはその手で、あなたをささえ、石に足を打ちつけることのないようにする。
13 あなたはししと、まむしとを足の下に踏み、若いししと、へびとを足の下に踏みこむであらう。
14 彼は私を愛して離れないゆえに、私は彼を助けよう。
15 彼は私を愛して離れないゆえに、私は彼を守ります。
16 私は長寿をもつて彼を満ち足らせ、わが教を彼に示すであらう。

回自分の日を数える知恵
Ecc 7 : 1 良き名は良き油にまさり、死ぬる日は生るる日にまさる。：2 悲しみの家にはいはるのは、宴會の家にはいはるのにまさる。死はすべての人の終りだからである。生きている者は、これを心にとめる。

回モーセの証しの歌（申命記32）
Deu 32 : 15 しかるにエシュレンは肥え太つて、足でけた。あなたは肥え太つて、つややかにになり、自分を造つた神を捨て、救の岩を偏つた。：16 彼らはほかの神々に仕えて、主の恵みを記し、憎むべきおこないをもつて主の怒りをひき起した。
Deu 32 : 28 彼らは悪魔の欠けた民、そのうちには知識がない。：29 もし、彼らに知識があれば、これをさとし、その身の終りをあきらめたであらうに。
Deu 32 : 36 主はついにその民をさばき、そのしもべらにあれみを加えられるであらう。

回人はちに帰る
Gen 3 : 19 あなたは顔に汗してパンを食べ、ついに土に帰る。あなたは土から取られたのだから。あなたは、ちりだから、ちに帰る」。

回安息の地に入る前の警告
Deu 31 : 16 主はモーセに言われた、「・・・この民はたちあがり、はいて行く地の異なる神々を慕つて義理を行い、あたしを捨て、あたしが彼らと結んだ契約を破るであらう。：17 その日には、あたしは彼らにむかつて怒りを發し、彼らを捨て、あたしの顔を彼らに隠すゆゑに、彼らは滅ぼしつくされ、多くの災と悩みが彼らに臨むであらう。
Deu 31 : 19 それであなたがたは今、この歌を書きしるし、イスラエルの人々に教えてその口に唱えさせ、この歌をイスラエルの人々に対するあたしのあかしとならせなさい。
Deu 31 : 21 こうして多くの災と悩みとが彼らに臨む時、この歌は彼らに対して、あかしとなるであらう。

回神は我らのすみか
Psa 90 : 1 主よ、あなたは世々われらのすみかでいらせられる。
Deu 33 : 27 とこしえにいます神はあなたのすみかであり、下には永遠の腕がある。

回疫病（剣、ききん、疫病は国家の裁き）
Deu 28 : 21 主は疫病をあなたの身につかせ、あなたが行って取る地から、ついにあなたを断ち滅ぼされるであらう。
2Ch 7 : 13 あたしが天を閉じて雨をなくし、またはあたしがいなごに命じて地の物を食あせ、または疫病を民の中に送るとき、
Jer 28 : 8 あたしと、あなたの先に出た預言者は、むかしから、多くの地と大きな国について、戦いと、ききんと、疫病の事を預言した。

回恐れるな、私はともにいる
Deu 31 : 6 あなたがたは強く、かつ勇ましくなければならぬ。彼らを恐れ、おののいてはならない。あなたの神、主があなたと共に行かれるからである。主は決してあなたを見放さず、またあなたを見捨てられないであらう」。

回申命記32章モーセの歌の連想
Deu 32 : 11 あしがその巢のひなを呼び起し、その子の上に舞いかけり、その羽をひろげて彼らをのせ、そのつばさの上にこれを負うように、：24 彼らは飢えて、やせ衰え、熱病と悪い疫病によって滅びるであらう。あたしは彼らを獣の餌にかからせ、世に這うものの毒にあたらせるであらう。：35 彼らの足がすべるとき、あたしはあだを返し、報いをするであらう。彼らの災の日は近く、彼らの破壊は、すみやかに来るであらう。

回ダビデの礼拝改革
1Ch 15 : 16 ダビデは・・・立琴と琴とシンバルなどの楽器を打ちはやし、喜びの声をあげることを命じた。
1Ch 16 : 4 ダビデはまたレビびとのうちから主の箱の前に仕える者を立てて、イスラエルの神、主をあがめ、感謝し、ほめたたえさせた。

回黙示録のモーセの歌
Rev 15 : 3 彼らは、神の僕モーセの歌と小羊の歌とを歌って言った、「全能者にして主なる神よ。あなたのみあざは、大いなる、また驚くべきものであります。万民の王よ、あなたの道は正しく、かつ真実であります。：4 主よ、あなたをおそれず、御名をほめたたえない者が、ありましようか。あなただけが聖なるかたであり、あらゆる国民はきて、あなたを伏し拝むでしょう。あなたの正しいさばきが、あらゆるに至つたからであります」。

回タイトル：安息日のための歌
タルムードによると、**申命記32章**（カナンの証しの歌）、**出エジプト15章**（エジプト脱出の勝利の歌）、**民数記21章**（井戸の歌）と、**92篇**が安息日に歌われた

回モーセの歌（出エジプト15章）
Exd 15 : 1 そこでモーセとイスラエルの人々は、この歌を主にむかつて歌つた。彼らは歌つて言った、「主にむかつてあたしは歌あう、彼は輝かしくも勝ちを得られた、・・・：2 主はあたしの力また歌、あたしの救となれた、・・・：18 主は永遠に統治せられる」。